

平成17年度岩手県工業技術研究推進会議 議 事 録	(実施日) 平成17年10月20日(木)
--------------------------------------	-------------------------

(テーマ名) 熔融・結晶制御技術による産業廃棄物の無害化と有効活用(事後評価)
--

委員	質 問・意 見	回 答
E委員	他部局等への働きかけの中で、産廃スラグ製品を再生資源利用認定製品へ、とあるのはどう意味か？	[発表者] 産廃スラグ製品を利用認定するための制度上の仕組みをこれから作っていく、ということである。
H委員	カルシウム・蛎殻を入れたスラグはできるのか？	[発表者] 可能である。蛎殻のようなカルシウムを入れると融点が下がるという特徴があり、実際入れている例もある。
	今回の研究では蛎殻を入れた試験は行ったか？	[発表者] この研究では行っていない。
	蛎殻には制菌作用がある。これを使えば、いろいろ応用できるのではないか？	[発表者] 検討してみる。
F委員	産廃スラグ再資源化による埋め立て処分費等の経済効果の根拠は？	[発表者] 産廃スラグを江刺市のいわてクリーンセンターで処理する場合の料金、2万円/トンをういて算出したものである。
	不法投棄産廃を掘り起こした跡地に、第2クリーンセンターを建設する計画はあるか？	[発表者] 現在そのような計画はない。以前、所長が提案したことがあるが、実現には至らなかった。 [所長] 当時、現地の意向は原状回復にあったことと、第2クリーンセンター建設地が別の場所になったことで実現しなかったものである。
A委員	鋳物スラグの研究は中止か？	[発表者] やりたいとは思っている。実施する場合、企業の協力が必要なので、打合せを行いながら進めていきたい。
	企業の協力とは？	[発表者] 実際に研究を行うとなると、工場に新しく製造ラインを設ける必要がある。企業側の負担が大きいため、企業の協力は不可欠。
B委員	鋳物スラグの処理費は、6千円/トン程度である。熔融すると安くなるのか？コスト面で安くなるのであれば助かる。また、原料として骨材に使えるランクは必要。高炉スラグは強度が弱く、骨材として使えなかった。ぜひ取り組んでいただきたい。	[発表者] 熔融する場合の経費は、2万円/トン程度、熔融せずに900 で3時間保持すると結晶化し、強度も向上する。熔融の場合より経費的には安くなると思われる。どうすれば効率的になるか検討したい。
	K社の偽報告問題が報道されているが、スラグとしては問題ないのか？	[発表者] 同社の熔融スラグの有害性等について試験を行ったが、問題はなかった。
A委員	スラグ実用化の目処は？	[発表者] 岩手県コンクリート製品協会所属の3社に商品化試験を委託し、実際に熔融スラグを使ってU型側溝やヒューム管、インターロッキングブロックにする試験を行っている。また、U型側溝を実際に設置するフィールド試験も予定しており、十分実用化できると考えている。